

親子で楽しむ絵本

お酒は20歳になってから、
絵本は2歳になるまえから。



本についてのご相談は図書館まで

酒々井町立図書館 043 - 496 - 8682

★はじめに★

このリストでは、酒々井町立図書館にある絵本の中から、3歳前後のお子さん向けの絵本を集めました。日本の絵本作家の作品を中心に、長く子どもたちに愛され、読み継がれているものを選びました。また、絵本は大人から子どもへの贈り物として「読んであげるもの」と考えて選びました。

この頃の子どもたちの成長はめざましく、個人差も激しいので、このリストの本が読めること＝3歳らしいということではありません。また、幅広く選んだつもりですが、このリストの絵本には興味を示さない子もいることでしょう。そのときには、ぜひ保護者の方の目でその子にあった絵本を選んであげてください。

★絵本を読んでみよう★

子どもと一緒に、絵本の世界をのぞいてみましょう。お父さん、お母さんなど、身近な人が読んでくれた絵本は、子どもの中に一生残る思い出になります。上手、下手を気にせず、読んであげてください。毎日だけでなく、少しずつ、できるときにはじめてみましょう。

★読むときのポイント★

○スキンシップをしながら

読み手と触れ合っていると、子どもは安心して絵本を楽しむことができます。暖かくて楽しいひとときにしてあげてください。

○ゆっくり絵を見せよう

絵本は絵が主役です。絵をゆっくりじっくり見せてあげて下さい。

○読む人は「お話を伝える人」に徹して

声色を変えたり演技をしなくても、お話は子どもに伝わります。楽に読み、楽に聞いてもらいましょう。

○満足するまで何度でも

くり返し同じ本をせがまれても、本人が満足するまで読んであげてください。

○10歳になるまでは読んであげて

子どもが成長していくに従い、字が読めるようになっていきますが、10歳になるまではぜひ読んであげてください。誰かに読んでもらうというのは、字が読めるようになって、子どもたちにとっては楽しいものです。読み聞かせは、耳からの読書です。

★あかちゃん絵本から、ストーリーのある絵本へ

『ぼくうんでんできるんだ!』(Eオ)

おおともやすお/え 福音館書店 ※他シリーズあり



よんだ日



三輪車に乗れるようになったくまくん。自転車も乗れるよ。自動車だって、飛行機だって。くまくんは何にでも乗れるんです。



『ゆうびんやのくまさん』(Eウ) ※他シリーズあり

フィービとウォーシントン/さく・え まさきりこ/やく 福音館書店



よんだ日



くまさんはゆうびんやさん。クリスマスの前の日、くまさんは小包を配達するのに大忙し。そして、疲れて帰ったくまさんにもちゃんと小包が届いていました。

『おやすみなさい コッコさん』(Eカ)

片山健/さく・え 福音館書店



よんだ日



夜。起きているのはお月様だけ。おや、まだ起きている子がいました。コッコさんです。「おやすみなさいコッコさん」と、月が静かに語りかけます。



『しろくまちゃんのほっとけーき』(Eワ) ※他シリーズあり

わかやまけん/絵 森比左志、わだよしおみ/文 こぐま社



よんだ日



しろくまちゃんはホットケーキをつくります。卵を割って、牛乳入れて、材料をまぜて、さあ、焼いてみよう。ぽたあん どろどろ ぴちぴち ぷつぷつ…ホットケーキが焼ける様子が擬音語で表現されています。

★いきもの・のりもの 子どもは大好き！

『やさいのおなか』(Eキ)

きうちかつ/さく・え 福音館書店



よんだ日



不思議な黒い影。「これ、なあに？」野菜の断面から、何の野菜かあてる、なぞなぞのような本。答えは、次のページにありますよ！



『どうぶつのおかあさん』(Eヤ)

藪内正幸/え 福音館書店



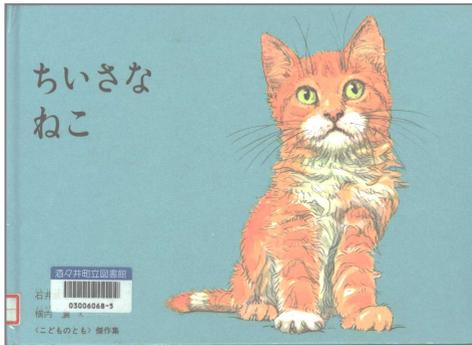
よんだ日



どうぶつのおかあさんは、子どもをどうやって運びますか？子どもたちが好きな動物 12 種類の、母が子を連れ歩く様を描いています。

『ちいさなねこ』(Eヨ)

石井桃子/さく 横内襄/え 福音館書店



よんだ日

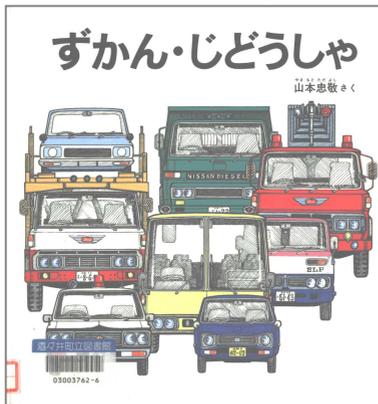


ちいさなねこ。大きな部屋から外へ飛び出しました。でも大丈夫。ちゃんとおかあさんねこが迎えに来てくれます。



『ずかん・じどうしゃ』(Eヤ)

山本忠敬/作 福音館書店



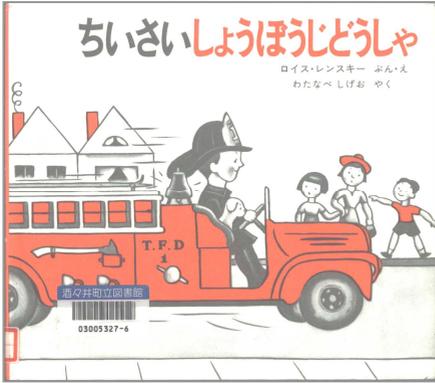
よんだ日



乗用車、バン、バス、トラック…子どもたちを夢中にさせる「じどうしゃ」がたくさんでてきます。

『ちいさいしょうぼうじどうしゃ』(Eレ)

ロイス・レンスキー/ぶん・え わたなべしげお/やく 福音館書店



よんだ日



スモールさんは消防士。ちいさい消防自動車に乗って、今日も火事を消しに走ります。



『ちいさいひこうき』(Eレ)

ロイス・レンスキー/ぶん・え わたなべしげお/やく 福音館書店



よんだ日

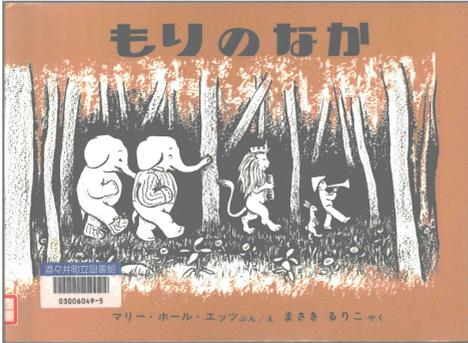


パイロットのスモールさんは小さい飛行機を持っています。ある晴れた日、スモールさんは飛行機を飛ばします。飛行機は、雲の上まで飛んでいきます。

★絵本に慣れてきたら・・・

『もりのなか』(Eエ)

マリー・ホール・エッツ/ぶん/え まさきりこ/やく 福音館書店



よんだ日

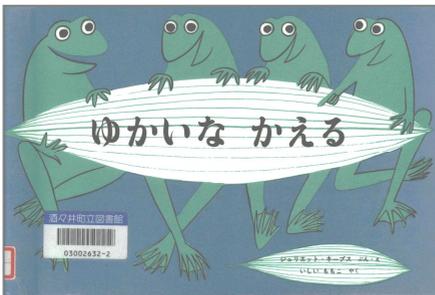


紙のぼうしをかぶり、ラッパをもって、ぼくは、森に出かけました。
すると、動物たちがぼくの散歩についてきました。



『ゆかいなかえる』(Eキ)

ジュリエット・キープス/ぶん・え 福音館書店



よんだ日

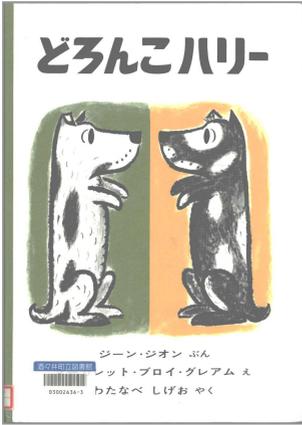


卵から4匹のおたまじゃくしがかえりました。かえるの1年間がユーモラスに描かれた絵本。

『どろんこハリー』(Eグ)

ジーン・ジオン/ぶん マーガレット・プロイ・グレアム/え

わたなべしげお/やく 福音館書店



よんだ日



ハリーは黒いぶちのある白い犬です。何でも好きだけど、お風呂に入ることだけはきらいでした。ハリーはお風呂用のブラシをくわえて逃げ出して、遊びに行ってしまうます。



『おおきなかぶ』(Eサ)

佐藤忠良/画 A.トルストイ/再話 福音館書店



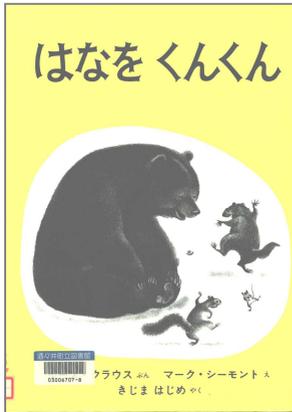
よんだ日



「おおきなおおきなかぶになれ」おじいさんの願いは叶って、おおきなおおきなかぶができました。さて、かぶを抜かなければなりません。「うんとこしょ、どっこいしょ」言葉のくりかえしが楽しい絵本。

『はなをくんくん』 (Eサ)

マーク・サイモント/え ルース・クラウド/ぶん 福音館書店



よんだ日



雪深い森に、いいにおいがただよいました。動物たちは冬眠から覚め、においを追ってかけだします。詩のようなりズミカルな文章と絵にひきつけられる絵本。



『せんたくかあちゃん』 (Eサ)

さとうわきこ/さく・え 福音館書店 ※他シリーズあり



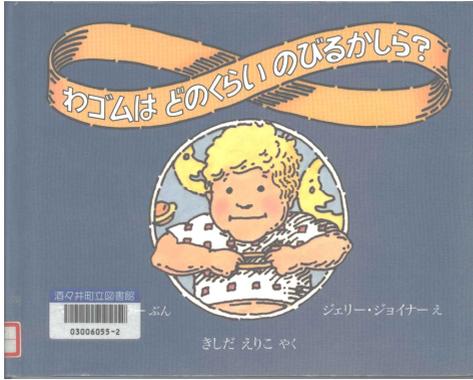
よんだ日



洗濯が大好きなせんたくかあちゃんは、今日も家中の洗濯物をすっかり洗ってしまうと、イヌもネコもニワトリも子どもたちも、みんな洗濯してしまいました。そこへかみなりさまが落ちてきました。せんたくかあちゃんはきたないかみなりさまをつかまえて洗濯してしまいます。

『わごむはどのくらいのびるかしら』(Eジ)

マイク・サーラー/文 ジェリー・ジョイナー/絵 ほるぷ出版



よんだ日

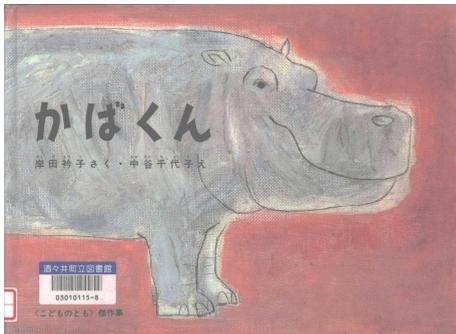


わごむはどのくらいのびるかしら。ぼうやは試してみることにしました。まず、ベッドの端にわごむをひっかけて、それから部屋の外に出て…。ナンセンスさが楽しい絵本。



『かばくん』(Eナ)

岸田衿子/さく 中谷千代子/え 福音館書店



よんだ日



動物園に朝がきた。おきてくれ、かばくん。動物園にやってきたかめくんは、かばくん親子と水の中で遊びます。動物園のかばの一日を飾り気のない言葉と美しい絵で描いた絵本です。

『ガンピーさんのふなあそび』(Eバ) ※他シリーズあり ジョン・バーニンガム/さく みつよしなつや/やく ほるぷ出版



よんだ日



ガンピーさんは舟を1そう持っていました。ガンピーさんが舟で出かけると「私も連れてって」とみんなついてきます。子どもたち、うさぎ、ねこ、いぬ、ぶた、ひつじ、にわとり、こうし、やぎ…。はじめはみんな仲良く乗っていましたが…。



『はじめてのおつかい』(Eハ)

林明子/さく 福音館書店



よんだ日



みいちゃんはお母さんに、初めておつかいを頼まれました。お金をにぎってでかけると、自転車が走ってきたり、お金を落としたり、初めてのおつかいはたいへん！でも、みいちゃんはちゃんとおつかいをしつうちに帰ります。

『のろまなローラー』（Eヤ）

小出正吾/さく 山本忠敬/え 福音館書店



よんだ日



ローラーが重い車をごろごろ転がしながらゆっくり道を進んでいると、いろいろな自動車たちが、次々に追い越していきました。ところがでこぼこ道の坂を登っていくと、道端にさっきの自動車たちがパンクして停まっています。ローラーがしっかりでこぼこ道を直していくと……。



『ぐりとぐら』（Eヤ）

※他シリーズあり

なかがわりえこ/さく おおむらゆりこ/え 福音館書店



よんだ日



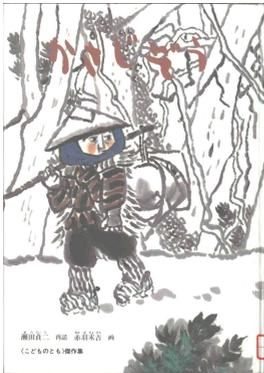
のねずみのぐりとぐらは、大きなかごをもって森の奥へ出かけました。すると、大きなたまごが落ちていました。2ひきはそのたまごで大きなカステラをつくります。「ぼくらのなまえはぐりとぐら このよでいちばんすきなのは おりょうりすることたべること」2匹の歌が森に響きます。

★もっとお話の世界を楽しみたい子に 昔話はいかが？

昔話は語りつがれ、みがかれてきた簡潔な文章と、力強いストーリーで子どもの心をひきつけます。絵本を存分に楽しめるようになってきたら、昔話はいかがでしょう。（目安：4歳くらいから）

『かさじぞう』（Eア）

赤羽末吉/画 瀬田貞二/再話 福音館書店



よんだ日



おじいさんは笠を売りに年越し市に出かけますが、笠はひとつも売れません。おじいさんは笠を吹雪の中に立っているおじぞうさまの頭にかぶせました。日本の昔話。



『おおかみと七ひきのこやぎ』（Eホ）

フェリクス・ホフマン/え せたていじ/やく 福音館書店



よんだ日



おかあさんやぎが森に食べ物を探しに出かけます。七ひきのこやぎはお留守番。そこへおおかみがやってきます。有名なグリムの昔話。

『おだんごぱん』（Eワ）

せたていじ/やく わきたかず/え 福音館書店



よんだ日



こなばこはたいておばあさんがつくったおだんごぱん。さめるとさっさと逃げ出します。「ぼくのなまえはおだんごぱん」と歌って、自分を食べようとする人たちをかわして行きます。威勢のいいおだんごぱんはどこまで行くでしょう？ロシアの昔話。



『三びきのやぎのがらがらどん』（Eブ）

マーシャ・ブラウン/え せたていじ/やく 福音館書店



よんだ日



3びきのやぎのがらがらどんは、山に食事に出かけます。3びきが山へ行く途中の橋には恐ろしいトロルが住んでいます。でも、がらがらどんたちはトロルを恐れず山に向かいます。北欧の昔話。

★保護者の方におすすめの本

『えほんのせかいこどものせかい』（019 マ）

松岡享子/著 日本エディタースクール出版部

子ども文庫の時代から30年以上子どもと本をつないできた東京子ども図書館理事長が、子どもを本の世界に誘うには、大人たちがどんな心構えで本と子どもに接していったらいいか教えてください。

読み聞かせに向く絵本のリストつき。

『読む力は生きる力』（019 ワ）

脇明子/著 岩波書店

長年大学で教鞭をとり、子どもの本の翻訳もしてきた著者が、「子どもが本を読むことの大切さ」をテーマに真正面から取り組み、たどり着いた成果を講演のようなやわらかい語り口で説きます。

『現在、子どもたちが求めているもの

ー子どもの成長と物語』（019 サ）

斎藤惇夫/著 キッズメイト

福音館書店の編集責任者として、また物語作家として長年子どもたちを見つめ続けてきた著者が、「子どもの成長と物語」について、大人が果たすべき役割を語ります。





ここに掲載されている本は、全て図書館にあります。
年齢制限なく、どなたでも本を借りることができますので、ぜひご利用ください。



読書通帳はお持ちですか？

借りた本のタイトルを記録できる読書通帳を無料で配布しています。ご希望の方は職員までお声かけください。

